



## Q&Aで学ぶ



# 定年前後のお客様の 資産運用に関する 悩み・疑問にはこうこたえよう

ここでは、定年前後のお客様を、運用経験がある方、ない方に分け、それぞれが抱える資産運用の悩み・疑問にどうこたえていけばいいかをみていく。

### 投資・運用の経験がない お客様の悩み&疑問 ①

退職金をもらっても、いずれお金が  
底をついてしまうのではと不安。  
運用で不安は解消できる？



#### こんなトークで こたえよう



まずは退職金を含めて、公的年金が支給される65歳時点で金融資産がどのくらいあるのか、考えてみてください。

資産が3000万円、公的年金だけでは不足する老後生活資金の額が月10万円程度であれば、貯蓄が底をつくのとは25年後の90歳なので、運用しなくても賄える可能性があります。

ただ資産が2000万円程度の場合には、16年8カ月後、81歳8カ月時点でお金に先立

たれてしまう計算になります。

こうした点がご不安であれば、リスクをおさえた運用で、お金の寿命を延ばしていくことも検討されませんか？

2000万円を年利3%で運用できたら、88歳2カ月まで、年利5%なら100歳11カ月までお金が底をつくことはなくなります。どのように運用するかもお伝えしますので、ぜひご検討ください。

#### 解説

「貯蓄がなくても、借金がなければ、老後の生活費は年金と退職金で賄える」時代は終わったと言っているだろうか。それに加えて、今後は新卒で入社した会社に定年まで勤め続けて退職金をもらうお客様は少なくなる。したがって、本ケースのような相談に対しては、退職金のみでフォーカスするのはなく、退職時点の金融資産も合わせて考えることが必要だ。

その点、退職金を「今すぐ使うお金」「今すぐには使わないが、将来的に使う予定のあるお金」「使う予定のないお金」の3つに分け、「使う予定のないお金」を余裕資金と考えて運用の原資にするとい